

健康産業速報

FAX 通信

発行インフォマーケッツ
ジャパン(株)速報編集部
本社〒101-0044 東京都千代田区鍛冶町
TEL 03-5269-1111
FAX 03-5269-1010
週2回発行
年間680000円
半年380000円
税別購読料

この通信は購読者が直接利用される以外、コピー等による第三者への提供は固くお断りいたします。

食薬区分改正案、「非医」候補に4成分

ジオスゲニン、テアクリン等 タウリン等の審議、「医が妥当」と判断

厚生労働省は1日、食薬区分の一部改正案について意見募集を開始した。新たに「非医薬品リスト」候補として示されたのは、ガルシニアインディカ（果皮）、キバナオランダセンニチ（葉・花・茎葉）、ジオスゲニン、テアクリン等の4成分。また現行の「非医薬品リスト」に記載されている「ゴマ」の部位に地上部を加える案を示した。今回、「医薬品リスト」への新規追加はないが、同リストの「ロクジョウ」の他名等を変更。一方、「医薬品リスト」収録のタウリンやグルタチオンなどの区分変更については見送られた。今月 日まで意見を募集する（2面に改正案）。

ガルシニアインディカは国外で食経験あり、安全性にも問題はなく、「医薬品（非効能効果を標ぼうしない限り医薬品と判断しない成分本質（原材料）リスト」（非医薬品リスト）への追加が妥当と判断。キバナオランダセンニチ、ジオスゲニン、テアクリン、**ゴマの地上部についても、安全性に問題があるとは考えられないことから、「非医薬品」とすることが妥当とみなした。**

今回の改正にあたって行われた専門家によるワーキンググループ（WG）では、「医薬品リスト」から「非医薬品リスト」への移行候補成分を審議。「ブクリョウ」「グルタチオン」「1 デオキシノジリマイシン」「タウリン」「オリザノール」「S アデノシル」「メチオニン」について検討した結果、いずれも医薬品リストに「留め置くことが妥当」と判断した。厚生労働省によると、これらの候補成分は事業者からの申請に基づき挙げられた成分という。WGではグルタチオン、タウリン、オリザノールについて、日本で医療用医薬品成分として使用されていることを指摘。「今回新たな知見が生じたわけではない」として、区分変更を見送った。「S アデノシル」「メチオニン」は、海外で医療用医薬品として用いる国もあると指摘した。血糖降下作用を持つ1 デオキシノジリマイシンについては、「保健衛生上の観点から医薬品として規制する必要がある」との見解を示している。「ブクリョウ」に関しては、日本薬局方収載の生薬で、医薬品としての使用実績しかないことから、医薬品リストのままが妥当としている。

■「非医薬品」リストへの新規追加候補（植物由来物等）

名称	他名等	部位等	備考
ガルシニアインディカ	インドマンゴスチン/コバノマンゴスチン /Kokum	果皮	
キバナオランダセンニチ		葉・花・茎葉	

■「非医薬品」リストへの新規追加候補（化学物質等）

名称	他名等	部位等	備考
ジオスゲニン	Diosgenin/Nitogenin/(3β,25R)-spirost-5-en-3-ol		非配糖体に 限る
テアクリン	Theacrine/1,3,7,9-Tetramethyluric acid		

■「医薬品」リストの改正（動物由来物等）

※現行の記載

名称	他名等	部位等	備考
ロクジョウ	シベリアジカ/マンシュウアカジカ/マンシュウジカ/ワピチ	雄の幼角	

※改正後の記載（下線部は改正箇所）

名称	他名等	部位等	備考
ロクジョウ	<u>Cervus nippon</u> 、 <u>Cervus elaphus</u> 、 <u>Cervus canadensis</u> 又はその他同属動物(Cervidae)	雄の幼角	

■「非医薬品」リストの改正（植物由来物等）

※現行の記載

名称	他名等	部位等	備考
ゴマ	ゴマ油	種子・種子油・根	

※改正後の記載（下線部は改正箇所）

名称	他名等	部位等	備考
ゴマ	ゴマ油	種子・種子油・ <u>地</u> <u>上部</u> ・根	

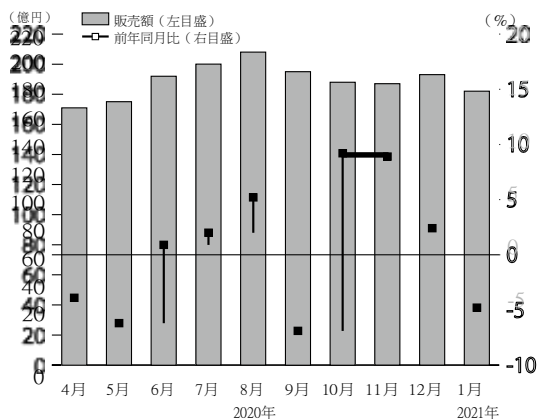
1月のDgS販売額、健食5%減

経済産業省は2月26日、1月の商業動態統計速報を公表、グストアでの健康食品の販売額は前年同月比4・8%減と伸び悩んだ。

1月のDgS販売額は5877億円で、前年同月比3・4%増。4カ月連続のプラスとなった。食品、家庭用品、調剤医薬品などが好調だった。店舗数は1万7034店舗で、同3・6%増。前年同月から590店舗増えて1万7000店を突破した。

「健康食品」の販売額は182億円で、同4・8%減。4カ月ぶりのマイナスとなった。経産省・サービス動態統計室によると、美容系サプリメントや栄養補給食品などが不調との声があったという。

■2020年度のDgS健食販売額



好調が続いていたドラッグ